

ガバナー就任の挨拶

第266地区ガバナー

種田 憲次

輝かしい歴史と伝統のある国際ロータリー第266地区のガバナー・エレクトとしてこの地区協議会において飯沼ガバナーより紹介をうけ皆さんと共に奉仕する1981～82年度の開幕のご挨拶を申しあげますことは私にとりましては、この上もない光栄なことでございます。

顧りみますと昨年4月、池田の地区大会において、ガバナーにノミネートされましてから、飯沼ガバナーを始め先輩パストガバナーの皆さんからいろいろと暖かいご指導を戴き準備をすすめて参りました。そして去る5月21日から26日まで、米国フロリダ州ポカラトーンにおいて行われました国際協議会に参加し全世界より集まった390名のガバナー・ノミニエーと共にびっしりと研修を受け、如何にしてガバナーの重責に應えるかという手段と精神を鍛えられました。ついで南米ブラジルのサンパウロで行われました1981年の国際大会の最終日6月2日に正式にガバナーにエレクトされた次第です。これはひとえに当266地区の全ロータリアンの御高配の賜でありここに深く感謝申し上げるものであります。

愈々1981～82年度がスタート致します。地区内のクラブのよき相談相手でありますガバナーの職責を果たすよう最善の努力をして参る所存でございます。



す。そして皆さんと共に奉仕の実をあげることが出来ますようにやって参りましょう。どうか旧に倍する御支援と御協力をお願い致します。これを持ちましてガバナー就任の挨拶と致します。

さて本年度のマッキヤフリー会長のテーマは、ロータリーを通じて世界理解と平和を、であります。

そして今年には地区毎のサブテーマをつくらずに全世界がこのテーマ一本でやって行こう、

各クラブが実践活動でこのテーマを強調しロータリアン一人一人が身をもって世界理解と平和の促進に献身してほしい、と要請しております。

勿論ロータリーの基本は奉仕であり、

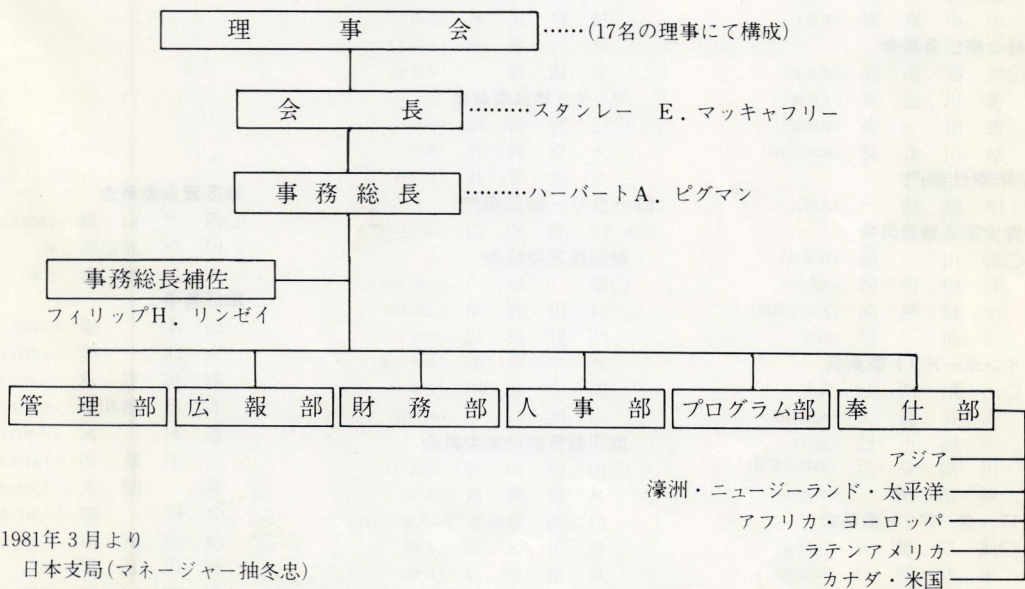
奉仕こそロータリーの存在理由であり、奉仕をすることがロータリアンの使命でもあります。ロータリーには地域社会への奉仕があります。

それと共にロータリーは国際性をもっております。ロータリーは最も国際性に富んだ組織であるとも云えましょう。それにロータリアンは一様に奉仕と善意の理想を抱いております。然し果してロータリアンは人類の為に奉仕をしているのでしょうか？ 潜在能力として持っている丈ではないでしょうか？ 100万に近いロータリアンを奮起させ、すべての会員がロータリーの力を発揮し潜在能力を顕在化することが出来たならばよりよき世界を実現することが可能です。

世界理解と平和をロータリーを通じて行いましょう。よりよき地域社会をつくる為に、よりよき世界にする為に共に働き共に努力し、ロータリーの使命であり又我々に課せられた運命でもある「世界理解と平和を」という目標達成のために献身しようではありませんか！とマッキヤフリー会長は呼びかけております。そしてロータリークラブがどの様にして目標達成の為に努力をしてゆくか又個々のロータリアンはどの様にして貢献してゆくかを前掲のR.I. 会長の挨拶にて行動要請として書かれております。

各クラブ毎に「世界理解と平和」の活動目標を如何にして達成するか、計画をたて実行してゆかれるように望みます。

国際ロータリー中央事務局 (1981~82年度)



1981年3月より
日本支局(マネージャー抽冬忠)
が東京に開設されました。